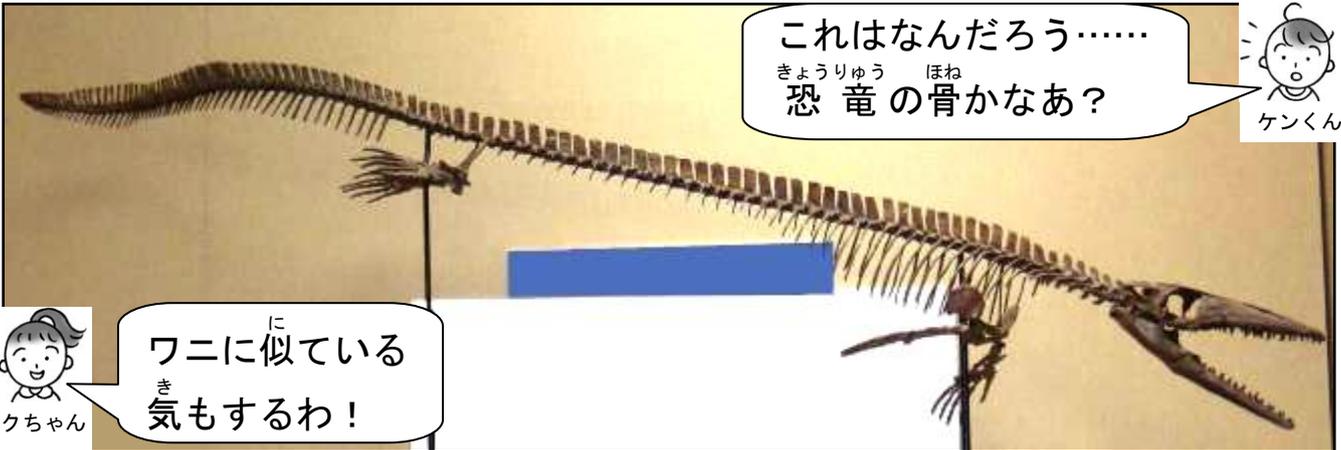
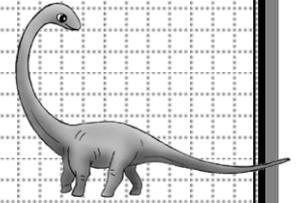


モササウルス類



これはなんだろう……
恐竜の骨かなあ?



ワニに似ている
気もするわ!

↑ クリダステスの全身骨格 (アメリカ合衆国)



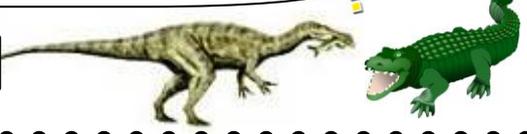
ふたりともなかなかいい感じ! この骨は、恐竜やワニと同じハチュウ類で、モササウルス類と呼ばれる、海の中で暮らすトカゲの仲間の骨なの。



生きていたときの姿も、ワニや恐竜に似ていたのかしら



それではいっしょに、見てみましょう!

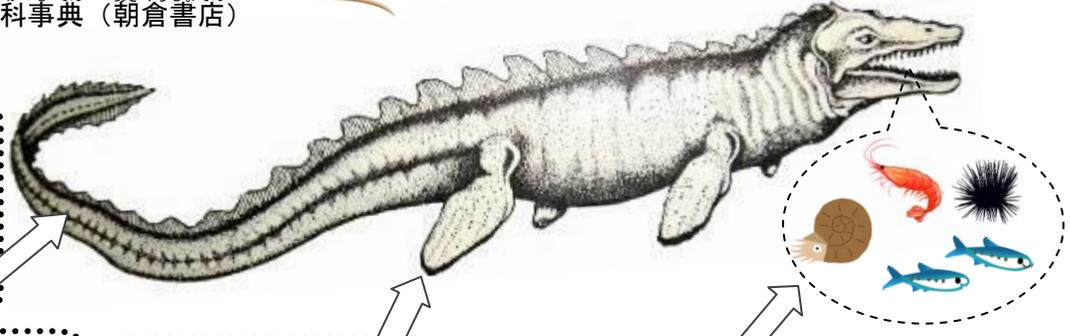


モササウルス類 想像図



約8800万年~6550万年前に生きていたよ。恐竜と同じ頃に絶滅してしまったんだ。

図の出典: 古生物百科事典 (朝倉書店)



長くてたいらな
しっぽで、からだ全体をくねらせて進むよ。

種類によっては、3メートル~18メートルくらいの大きさになるんだ。

あしは、泳ぎやすいように、オールのような形に進化したよ。

ぎざぎざの歯で魚やアンモナイト、ウニ、エビなどを食べ、海岸に近い浅い海で暮らしていたと考えられているよ。



モササウルス類が暮らしていたのは、「中生代(★)」と呼ばれる時代の終わり頃のことです。中生代は、それまで海で暮らしていたいきものたちが、だんだんと陸で暮らすようになっていった「古生代(☆)」のあとの時代で、恐竜や、他のハチュウ類の仲間たちも陸でたくさん暮らしていたの。



★中生代：今から約2億5100万年～6550万年前 / ☆古生代：今から約5億4200万年～約2億5100万年前



だけど、モササウルスは絶滅するまで、海の中で暮らしていたんでしょう？
みんなといっしょに陸には上がらなかったのかな？



実はこの頃、陸で暮らすようになったハチュウ類の仲間の中から、もう一度海に戻って暮らすようになったものが現れたの。こういうハチュウ類のことを、「海生ハチュウ類」と呼んでいるわ。



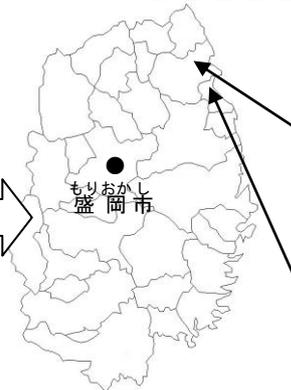
そうか！！モササウルスも、「海生ハチュウ類」の仲間だったんだ！



そのとおり！
この頃の海には他にも、長頸類や魚竜などの海生ハチュウ類が暮らしていたの。



モササウルス類の歯の化石は、ここ、岩手県でも見つかっているのよ。



1982年
(昭和57年)
久慈市
おきないちょう
長内町



1981年
(昭和56年)
野田村
のだむら
まいた かいがん
米田海岸

おおむかし いわて うみ
大昔の岩手の海にもこんないきものがいたなんて、ドキドキしちゃうね！



参考にした本 『古生物 百科事典』 朝倉書店 1982年 / 『小学館の図鑑NEO 11 恐竜』 小学館 2002年 他

来月(2月)の
けんぱくものしりシートは
考古-12だよ！
おたのしみに！



モッチャン



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214
http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/